

平成 22 年 5 月 28 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730109

研究課題名（和文） 戦後日本の環境政治の比較事例分析

研究課題名（英文） A Comparative Case Study on Environmental Politics in Postwar Japan

研究代表者

森 道哉（MORI MICHIIYA）

立命館大学・大学院公務研究科・准教授

研究者番号：40380141

研究代表者の専門分野：政治学

科研費の分科・細目：政治学

キーワード：環境政治、事例研究、過程追跡

1. 研究計画の概要

本研究は、「環境政治（Environmental Politics）」という切り口から戦後日本の政治過程を捉え直すことを目標としている。また特に、従来の環境政治の研究がある時点の単一の事例を扱う傾向があったのに対して、本研究は、(1)セオドア・J・ロウィ（Theodore J. Lowi）の政策類型論をベースにした理論指向の比較事例研究を行おうとしている。その際には、(2)事例に関する時代性などをコントロールしつつ、(3)複数の事例に対して過程追跡（process tracing）を分厚く行うことを企図している。

2. 研究の進捗状況

(1)複数の事例研究、(2)過程追跡における多様な資料の使用、(3)分析視角の精緻化という三つの観点から述べる。

(1)については、2000年代初頭に環境省が所管することになった法律の制定過程の分析を行っており、主として石綿健康被害救済法、景観法、環境保全活動・環境教育推進法、自動車リサイクル法に着目して調査している（以外は略称を用いている。研究戦略上、ほかにも目配せをしている法律はある）。このなかで公刊物があるのは、とである。例えばでは、被害者の救済に関する行政と政治の関係などについて、国会会議録や新聞記事などの資料を利用しながら論じている。

(2)に関しては、上記のような資料のほか、環境政治に関する「公人」のオーラル・ヒストリーの蓄積とその活用という観点を重視しながら進めている。その背景には、

被害者が、問題となっている事象を記述したものは相当程度ある一方、産業界、官界、そして政界の関係者からの情報発信が少ないこと、また、確かに近年では、「環境」に関する政治学的な研究は増加傾向にあるように思われるが、まだ相対的に他の政策領域のそれよりも少ないことなどがある。本研究は、一定の方法に基づく聞き取り作業によって情報の不足を埋めること自体が重要と考えるだけでなく、各法律に関する過程追跡を進める上でも重要な資料となりうると考えてこれに取り組んでいる。

(3)については、ロウィが政策類型論に関する一連の論考を再構成し、新たに解説を付した最新作の検討を軸に研究を進めているが、関連文献の情報収集と読み込みに終始しており、文章化するには至っていない。

また、環境政治の研究動向についても整理を進めようとしているが、社会的な関心の高まりと軌を一にするかのように関連文献が急増してきており（主要な文献の翻訳化も進んできている）、議論の把握と整理が十分に行えていない。これらは事例研究間の関係性を示す上で重要な作業であるので、取りまとめを急いでいる。

3. 現在までの達成度

やや遅れている。

このように自己評価する理由としては、上述のように、資料収集などは行いつつも事例研究の執筆が思うように進んでいないことおよび分析視角に関する理論的な課題がクリアできていないことが挙げられる。また、オーラル・ヒストリーの実施も先方との調整

が難しい局面があり、必ずしも十分に蓄積できているとは言えない状態である。ただし、徐々にではあるが、この作業が軌道に乗りつつあることは付記しておきたい。

4. 今後の研究の推進方策

進度を上げていく必要性は認識しつつも、基本的には研究当初の計画に沿って最終年度も進めていく予定である。なお、オーラル・ヒストリーについては、公表できるかどうかは先方の意向に依る部分が大きく、紙媒体としての成果が即座には出せない可能性があるほか、未公表となる場合もありうることは特記しておきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 4件)

森道哉、環境政策の戦後と地方分権、TOYONAKAビジョン 22、12号、34-39頁、2009年3月、査読無。

森道哉、戦略的な環境規制? アスベストをめぐる政治過程、香川法学、28巻1号、43-129頁、2008年6月、査読無。
http://www.lib.kagawa-u.ac.jp/metadb/up/AN00064452/AN00064452_28_1_166.pdf

森道哉、アスベスト政治の過程追跡 2005-2006年度を中心に、別冊政策科学(アスベスト問題特集号)、203-225頁、2008年3月、査読無。

森道哉、[研究ノート]戦後日本の環境政治と大企業の権力 東京電力を事例として、香川法学、27巻3・4号、63-81頁、2008年3月、査読無。
<http://www.lib.kagawa-u.ac.jp/metadb/up/AN00064452/KJ00005090619.pdf>

[学会発表](計 1件)

森道哉、戦略的な環境規制? アスベストをめぐる政治過程、日本行政学会(分科会B「環境ガバナンス」)、2007年5月26日、北海学園大学。